

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	学校指導課
職	教育次長兼課長
氏名	小浦 寛

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>1 学校の教育課程、学習指導、生活指導等に関する方針等を定めるとともに、学校が活性化するための指導・助言・援助を行う。</p> <p>2 特に、本県独自の使命・役割としては、教育に対する県民の関心が高まる中で、教育行政が果たす役割が益々重要となっていることから、平成28年3月に策定した「第2期石川の教育振興基本計画」の具現化に向けて諸施策を着実に推進することにより、教育内容のより一層の充実を図る。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>「未来を拓く心豊かな人づくり」を基本理念として、ものづくり産業や高等教育機関の集積、質の高い文化や豊かな自然など、本県の個性とも言える財産を最大限に生かしながら、ふるさとに誇りと愛着を持ち、いしかわの未来を担う人材の育成に向け、具体的な取組を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成</li> <li>・ 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成</li> <li>・ 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくり など</li> </ul>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①中学生の高等学校進学率	99.3%(2)	H27 年度	全国上位	H37 年度	文科省「学校基本調査(H27.12.25公表)」全国平均 98.5%
①高校生の大学等進学率	54.7%(15)	H27 年度	全国上位	H37 年度	文科省「学校基本調査(H27.12.25公表)」全国平均 54.5%
①高校生の就職内定率	99.8%	H27 年度	100%	H37 年度	労働局調べ
①高等学校の中途退学率	1.4% (低い順で20位)	H26 年度	全国平均以下	H32 年度	文科省「H26年度児童生徒問題行動等(H27.9.16公表)」全国平均 1.5%
①特別支援学校高等部卒業生の就職内定率	93.3%	H27 年度	100%	H31 年度	県教委調べ



28年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成	ふるさと石川に関する教材の活用推進、地元企業等と連携した地域社会の一員として主体的に参加する態度や地域に活力を与える企画力の育成、科学的スキルの獲得に向けた取組の推進、小・中・高等学校を通じた英語教育の充実 など
① 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成	学力調査等による現状把握と指導法の改善、高等学校の特色に応じた取組の充実、ICTを活用した授業の推進、発達の段階に応じたキャリア教育の推進と、特別支援教育の充実 など
① 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくり	いしかわ版道徳教材の活用推進、いじめを見逃さない学校づくりの推進、生徒指導体制やカウンセリングの充実、不登校を生み出さない学校づくりの推進 など

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	学校指導課
職	課長
氏名	小浦 寛

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
<p>1 学校の教育課程、学習指導、生活指導等に関する方針等を定めるとともに、学校が活性化するための指導・助言・援助を行う。</p> <p>2 特に、本県独自の使命・役割としては、教育に対する県民の関心が高まる中で、教育行政が果たす役割が益々重要となっていることから、平成23年1月に策定した「石川の教育振興基本計画」の具現化に向けて諸施策を着実に推進することにより、教育内容のより一層の充実を図る。</p>	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>					
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>					
<p>教育振興基本計画が目指す人づくりに向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力ある学校づくりや教育システムの改善</li> <li>・ 基礎・基本を大切にし、一人ひとりの個性と創造性を伸ばす教育の推進の基盤づくりを進めるとともに、本県独自に実施している基礎学力調査や全国学力・学習調査の結果を踏まえ、子ども達の実態に即した学力向上対策に取り組む。</li> </ul>						
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>					
	<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
	①中学生の高等学校進学率	99.0%	H26 年度	全国上位	H27 年度	H25の全国平均 98.4% (9位)
	①高校生の大学等進学率	54.3%	H26 年度	全国上位	H27 年度	H25の全国平均 54.1% (13位)
	①公立高校の就職内定率	99.9%	H26 年度	100%	H27 年度	H25の全国平均 96.6% (1位) (平成26年3月末現在)
	①公立学校の中途退学率	1.17%	H26 年度	全国平均以下	H27 年度	H25の全国平均 1.7% (低い順で23位) (国公立)
	①特別支援学校高等部卒業生の就職内定率	95.5%	H26 年度	100%	H27 年度	



<b>27年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①小中学校の学力向上対策の推進	モデル校の指定や大学教授等のアドバイザーの派遣など、児童生徒の「活用力」の育成に重点を置いた取組を推進するとともに、教員の指導力の更なる向上に努める。
①高等学校の学力向上対策の推進	生徒の学習意欲を高めて学力の定着・向上を図る取組や、先端的な科学実験や語学学習など特定の教科に関する教育の重点化を図る取組とともに、教員の教科指導力の向上に努める。
①非行防止・いじめ・不登校等対策の充実	児童生徒の自己有用感と他者への思いやりの心を育成するとともに、非行防止教室等の実施により規範意識の醸成に取り組む。また、学校と保護者、関係機関との連携を強化し、問題行動等の早期対応、未然防止に努める。
①特別支援教育の推進	障害者就労支援の専門家の指導を受けて、特別支援学校教員の就労支援能力の向上・育成を図る。